

公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4

TEL 0296-72-2160

FAX 0296-72-5655

小説家 柴田錬三郎の日本人形コレクション

1月17日(金)-4月16日(水)



柴田錬三郎作 雛（玉子人形）12.5×22.5×15.7 cm

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当館ではフランス館長谷川仁・林子記念室において、2025年1月17日(金)から4月16日(水)まで、「小説家柴田錬三郎の日本人形コレクション」を開催いたします。つきましては、以下に展覧会の詳細を案内いたしますので、ご取材・ご紹介を賜りますよう、お願い申し上げます。敬具

◆ 開催趣旨

昨年、柴田錬三郎のご遺族より日本人形を中心に漆器など50数点が当館に託されました。この度は、35点をご紹介します。精緻な技巧が目を引く市松人形や舞踊人形、文楽人形などは、柴田の執筆活動に多くのインスピレーションをもたらしたことでしょう。また、本コレクションには、愛娘のため柴田その人が玉子で作った雛人形や、夫人手作りの抱き人形が含まれており、「シバレン」と呼ばれ人気を博した剣豪小説家のもうひとつの顔を垣間見ることができます。春のひとときを、本展でお楽しみいただければ幸いです。

◆柴田錬三郎 略歴

1917年、岡山県に生れ、慶應義塾大学文学科を卒業。戦後、「書評」の編集長を経て、創作に専念し、1951年、『イエスの裔』で直木賞を受賞。以後、時代小説を中心に創作し、1956年より「週刊新潮」で連載が開始された『眠狂四郎無頼控』が好評を博し、剣豪小説の一大ブームを巻き起こした。1970年には『三国志英雄ここにあり』を中心とした旺盛な作家活動が評価され、第4回吉川英治文学賞を受賞した。1978年、逝去。1988年、彼の業績を称え、柴田錬三郎賞が創設された。



文楽人形「おそめ」 105×41×28.5cm



舞踊人形 31.2×11.6×14.3cm

■ 展覧会の詳細

小説家 柴田錬三郎の日本人形コレクション

会 期：1月17日(金)-4月16日(水)

会 場：笠間日動美術館 フランス館長谷川仁・林子記念室

開館時間：午前10時より午後4時30分(入館受付は午後4時まで)

3月1日(土)からは、午前9時30分より午後5時

(入館受付は午後4時30分まで)

休 館 日：毎週月曜日(1月13日、2月24日は開館、翌日休館)

入 館 料：企画展示館・フランス館・日本館・野外彫刻庭園の観覧ができます。

大人1300円、65歳以上1000円、大学・高校生900円、

中学生300円、小学生無料/20名以上の団体は各200円割引

障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は半額割引

担 当：学芸部長 金澤 Email: kanazawa@nichido-garo.co.jp

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16

日動画廊内 日動美術財団 TEL 03-3571-2553



舞踊人形 38.6×12×14 cm

◆ 出品リスト

	材質	サイズ(cm)
1	舞踊人形	31.2×11.6×14.3
2	桜花文酒杯・酒注・弁当箱/黒漆丸盆	
3	柴田錬三郎 作 剣	墨、色紙 26.5×18.8
4	舞踊人形/春慶塗脇引	38.6×12×14
5	機織人形/春慶塗脇引	24.5×30×17
6	能人形	33×15×13
7	市松人形(男)/鎌倉彫桐文長方盆	布、木 40.3×27.5×14
8	市松人形(女)/鎌倉彫桐文長方盆	布、木 43×26.5×16.5

9	朱漆福字丸形ボンボン入れ	漆器	11×12.2
10	金紅梅小皿(5枚)/黒漆丸盆	磁器	
11	行燈	木、紙	
12	文楽人形 おそめ『新版歌祭文』より	木、布	105×41×28.5
13	行燈	木・紙	
14	金紅梅小皿(5枚)/春慶塗丸盆	磁器	
15	朱漆提灯型ボンボン入れ	漆器	11.5×12.3
16	市松人形(着物)/鎌倉彫桐文長方盆	布、木	38×19.7×8.2
17	市松人形(洋服)/鎌倉彫桐文長方盆	布、木	36×12×10.5
18	夫人 斎藤栄子 作 中国人の人形/鎌倉彫桐文長方盆	布	31×16.5×8
19	夫人 斎藤栄子 作 黒人の人形	布	36×19.3×5.5
20	虫籠	竹・木・紐	H16×26.5×16.5
21	手毬・糸巻・籠	糸・木・竹	手毬各約φ6~8cm、糸巻17×10.6×10.6 籠: 大φ48cm 小φ43cm
22	雛人形(親王)	木	男雛:18×21.5×18 女雛:16×20.3×16.5
23	草木文黒塗丸盆	漆器	φ38×H2.5
24	人形(能:猩々・熊野)/草木文黒塗丸盆	木	男:H4.5 女:H3.7
25	人形(能:高砂)/草木文黒塗丸盆	木	尉:H6、姥:H6
26	金漆桜花紋段々重ね/草木文黒塗丸盆	漆器	11.5×11×11
27	金漆桜花紋丸型ボンボン入れ/草木文黒塗丸盆	漆器	6.8×12.5
28	雛人形(親王:立ち雛)	布、板	40.8×31.5
29	柴田鍊三郎 作 雛人形(親王・三人官女)	玉子 紙	12.5×22.5×15.7
30	雛人形(親王)/雲錦文朱塗丸盆	木	H4.5
31	雛人形(親王)/雲錦文朱塗丸盆	木	H3.3
32	雛人形(親王)/金屏風/雲錦文朱塗丸盆	木	男雛 H4.5 女雛 H3.7
33	雛人形(親王:立ち雛)	紙	男雛:38.5×18.5×8.5 女雛:60×53.2×35.4
34	甘酒土瓶・盃(金)/雲錦文朱塗丸盆	磁器	土瓶 9.2×13×10・盃 2.2×3.8
35	雲錦文朱塗丸盆	漆器	φ35×H4

■ 交通案内

◆ JR 利用

・常磐線友部駅北口(9:50/10:50/11:50 発)より、かさま観光周遊バスで約15分

「日動美術館入口」下車徒歩1分(1回100円/1日フリー乗車券300円)

・水戸線笠間駅より徒歩約30分、レンタサイクル約10分、市内循環バスで約5分「日動美術館入口」下車徒歩2分

かさま観光周遊バス、またはレンタサイクルの利用が便利です。

◆ 自動車利用

・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道355号線経由約6km

・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道50号線経由約8km

■ 企画展のご案内

◆「日本の美 再発見。同時開催 追悼 柳下征史写真展」

2025年1月2日(木)-3月9日(日)

担当: 学芸部長 金澤 Email: kanazawa@nichido-garo.co.jp

学芸員 湊 Email: nichido.minato@gmail.com

◆中井精也写真展「Happy Train ～輝く季節の中で～」

2025年3月15日(土)～5月25日(日)

中井さんの活動を代表するのが20年間欠かすことなく続けているブログ「1日1鉄!」。毎日1枚の写真と合わせ、彼の綴る言葉は、私たちの心に優しいエールを届け続けています。この度は写真展という形にてお届けします。

関連展示: 鯉江充氏作品 ミニジオラマ 数点展示します。

担当: 学芸員 長谷川 Email: hasegawamidori310@gmail.com

管理部長 亀山 Email: k-museum@nichido-museum.or.jp

以上